

# アルツハイマー型認知症の新規治療薬レケンビ（一般名：レカネマブ）

2023年12月に新規認知症薬のレケンビ（一般名：レカネマブ）抗可溶性アミロイドβ（Aβ）凝集体抗体が発売されました。この薬は認知症の原因となる脳内に溜ったアミロイドβというタンパク質を除去することによって症状の進行を直接抑制する効果が期待できる新しい薬です。

従来の認知症の薬は、神経細胞の機能低下を補うような作用を持つもので、『進行予防薬（症状改善薬）』と呼ばれています。対してレケンビはアミロイドβの塊になる直前の状態に作用し、免疫反応でこれを脳から取り除くことができるため、病気の根本的な原因を改善する薬としての役割が期待されています。この薬の効果は病気の進行を遅らせ、認知機能低下を緩やかにすることが見込まれます。

レケンビは認知症の専門診療を適切に行えるための基準を満たした医療機関で使用できる薬です。当院では認知症専門外来を開設しており、適応を判断した上で投与の検討を行います。

## レケンビ（レカネマブ）による治療対象者

1. アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）
2. アルツハイマー病による軽度の認知症



## アルツハイマー病と治療薬

厚生労働省 HP より抜粋

### アミロイド仮説：アルツハイマー型認知症となるしくみ

